

年月日	21	10	20	ページ	04	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

ペットボトル、衣類を再生

ペットボトルから衣類に。住友商事関連会社のトムラ・ジャパン（東京都中央区、ソニー・インターバーク社長）は、使用済みペットボトルを消費者から回収し、衣類の原料となるペレット「ポトリウム」に再生する。従来は「ボトルtoボトル」と呼ばれる水平リサイクルを手がけてきたが、今後はペットボト



トムラ・ジャパンが設置するペットボトル回収機

住商 高効率自動回収機 全国に1400台設置

ル由来のスポーツウエア製造・販売に取り組む。ペットボトルから衣類を製造するには、キャップやラベルがきちんと剥がされており、汚れのないボトルの確保が重要となる。トムラ・ジャパンは全国のスーパーマーケットやコンビニエンスストアに1400台の自動回収機を設置。中身の残ったボトルやラベルが剥がされていないものを自動的に選別し、高品質のボトルを効率的に集められるのが特徴だ。回収したペットボトルをペレットに加工する際にも、通常は水酸化ナトリウムなどの薬剤を用いて

ボトルを洗浄するが、同社は外部企業と提携し、殺菌・滅菌効果のあるオゾン水とナノバブルで洗浄するため、環境への負荷が小さい利点もある。ポトリウムからは中空構造の長繊維を生産し、高い耐久性が求められるスポーツウエアの原料として利用できる。現在はアパレル事業者と商談を進めており早期の事業化を目指している。「将来的には、ある地域で回収したボトルから地域のスポーツチームのユニフォームを作る。地産地消的な取り組みを行った」（トムラ・ジャパン）という。